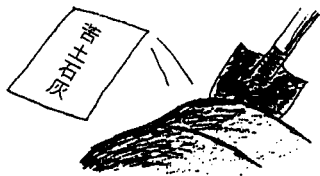
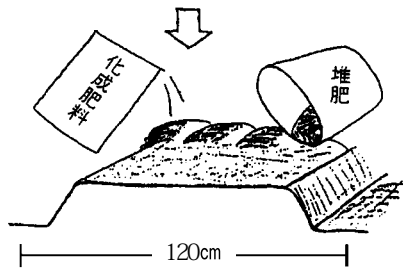


①畑の準備

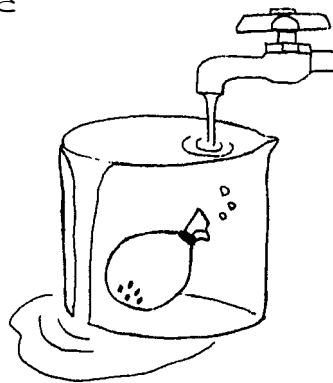


は種10日前に10㎡あたり苦土石灰1.2kgを施しよく耕します。

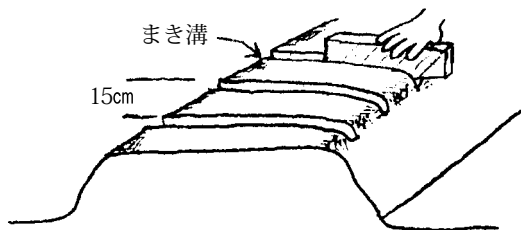


基肥として10㎡あたり堆肥20kgと化成肥料1kgを施し120cm程度のうねを作ります。

②種まき

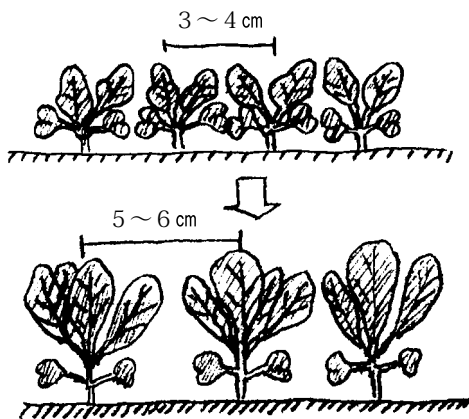


種を一晩水に浸けておくと発芽がよくなる。



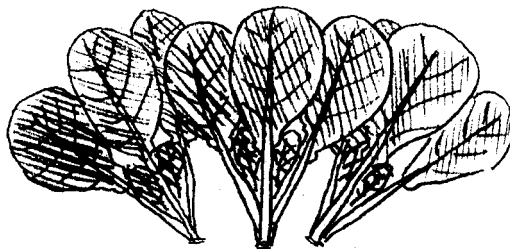
15cm間隔にまき溝を作り種をまきます。

③間引き



本葉2～3枚で3～4cm
草丈7～8cmで5～6cm間隔に
間引きします。

④収穫



草丈が20～25cmになったものから収穫します。

今月植える(まく)野菜	今月収穫できる野菜
バレイショ ホウレンソウ タマネギ(春植え)	ダイコン、レタス、ワケギ、ネギ、タカナ ホウレンソウ、ニンジン、ハクサイ シュンギク、キャベツ など

楽しい家庭菜園

県農業試験場
黒川 領太

コマツナ

カブの近縁種でアブラナ科の植物。

東京の小松川地方に古くからあった品種の総称です。「小松菜」の命名は五代将軍徳川綱吉公といわれています。カロチン、カルシウムなどミネラル類を多く含む健康野菜です。

栽培のポイント

連作にも強く、収穫までの期間が三〇日程と短く、家庭菜園でも作りやすい野菜です。

堆肥などの有機物を施用し、土づくりにとめましょう。

露地でも三月から一〇月中旬まで種まきが可能です。寒さには比較的強いですが、一二月はトンネルを利用し防寒すると品質のよいものが収穫できます。

家庭菜園用品種

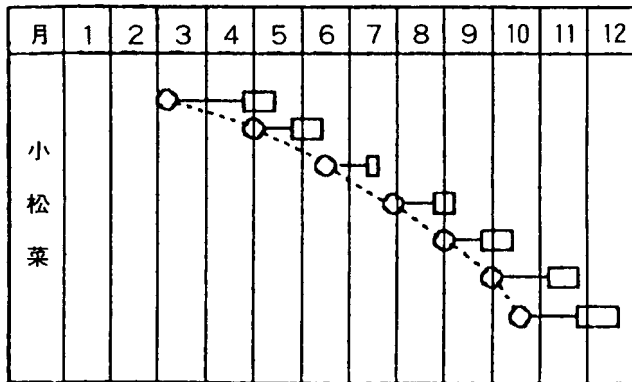
家庭菜園では周年栽培できる「おそめ」「夏楽天」などといった品種がよいでしょう。

少し変わったところで「べんり菜」といった品種もあります。

畑の準備

種まき一〇日前に一〇㎡当たり苦土石灰一・二kgを施し、よく耕します。

基肥として一〇㎡当たり堆肥二〇kgと化成肥料一kg



を施し、幅二〇cm程度のうねを作ります。水はけの悪いところは高畝にします。

種まき

種は一〇㎡当たり一五～二〇粒が必要です。一晩水に浸けておくと発芽がよくなります。板などで一五cm程度の間隔に深さ一cmのまき溝を作ります。まき溝にむらなく種をまき軽く土をかけ押さえます。

植えつけ後の管理

本葉が二～三枚になったら三～四cmの間隔に間引きします。さらに、草丈七～八cmのときに五～六cmの間隔に間引きします。

また、奇形になった株や生育の悪い株も間引きのとき除きます。

収穫

間引きながらでも利用できますが一般的には本葉四～五枚で草丈が二〇～二五cmになったとき収穫します。